

街づくり

人づくり

未来づくり



亜細亜大学の地域交流活動とは ～報告書の発行に当たって～

「本学の知的・人的資源を活用し、新しい街づくり、コミュニティづくりに積極的に取り組むこと」を目指し、平成16年（2004年）4月に「総合プロジェクト地域産学公連携推進室」が設置されました。そして、推進から定着への変化とともに、平成20年（2008年）、窓口となる事務部署を「総合企画部地域交流課」として現在に至っています。

従来からの各種公開講座の開講や市民聴講生の受け入れ、学外で開かれる講座・講演会への講師派遣をはじめ、近年では学生による教育・文化活動への協力・支援や小中学校でのスポーツ活動支援、街や自治体の活性化に向けたさまざまな取り組みへの協力が増えています。年間を通して実に多くのイベントや企画に、学生がボランティアとして積極的に取り組んでいます。

本学では、2016年から取り組んでいる中長期計画の第1次「3カ年中期行動計画」に基づき、学生・教職員の社会貢献活動を推進することを宣言し、これまで次の点に注力してきました。

- ① 自治体連携を進め、地域課題に取り組む学生、教職員をサポートする。
- ② 市民聴講生の受け入れをはじめ、市民の生涯学習をサポートする。
- ③ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けた大会ボランティア、スポーツボランティア、語学ボランティアなどの養成・登録を進める。

街とのかかわりは地域の人たちとのかかわりです。年代や環境や考え方の違いを実感する経験によって、学生たちは成長しています。

ここに、1年間の地域交流活動全般を報告書としてまとめました。学生や教職員に限らず、多くの地域の方々にも本学の取り組み、活動にご理解をいただければ幸いです。

この活動報告書には、地域交流課が把握できた活動を掲載しています。
このほかにも学生・教職員はさまざまな地域活動・社会活動に協力しています。

地域交流の理念・目的・重点活動分野

理念

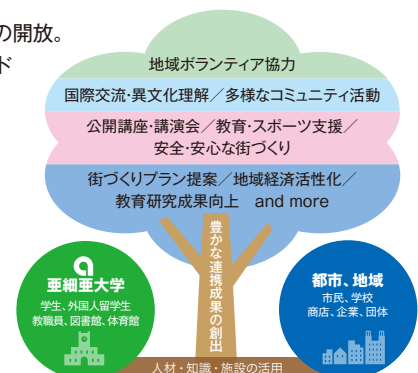
本学が有する「専門的知識」、「人材」、「施設」などを活用し、地域社会との交流・協力を促進することにより、本学の使命たる「人材育成」と、「より良い社会の形成・発展」に寄与する。

目的

- 学生・教職員が地域との交流・協りに積極的に参画することにより、「人材育成」及び「知の活性化」を図る。
- 知的・人的資源及び大学の施設を地域に開放することにより、地域社会のニーズに応え、「豊かなまちづくり」に貢献する。
- 地域社会と共に、国際色豊かで世代を超えた知的創造溢れる「コミュニティを形成」する。

重点活動分野

- 専門的知識の相互活用
 - ① 研究会、委員会などへの教職員派遣。
 - ② 講演会、シンポジウム、公開講座などの開催。
 - ③ 地域社会の人材活用。
- 人的資源の提供及び学習機会の拡大
 - ① 小中高等学校での教育支援や連携教育、スポーツ活動支援。
 - ② 国際交流・協力や福祉などに関する活動。
 - ③ 防災・防犯など安全な環境づくりに関する活動。
- まちづくりのための地域活動
 - ① 地域コミュニティ活動への参画。
 - ② 環境美化活動やボランティア活動。
 - ③ 地域のお祭り、イベントなどへの参加協力。
- 地域への施設開放
 - ① 図書館、教室などの開放。
 - ② 体育館、グラウンドなどの開放。



亜細亜大学 学長
大島 正克

「社会に貢献する大学」をビジョンに

亜細亜大学中長期計画ーアジア未来マップ2025ーでは、ビジョンとして「アジア交流の拠点となる」「『個性値』を伸ばす」「学生を生涯応援する」「社会に貢献する」大学になるという四つの目標を掲げています。

地域活動では、産学公の連携の推進を願い、武蔵野市、日の出町、小金井市、東久留米市、二本松市、三鷹市との間に包括協定を結び、地域の課題に共に取り組んでいます。また、武蔵野市役所、武蔵野警察署、武蔵野消防署とは災害時に協力し合う四者協定を結んでいます。

地域の少年少女を対象にスポーツの指導や安全管理に、本学の硬式野球部、剣道部、テニス部、サッカー部、陸上競技部などが協力していますが、

今後も地域の青少年の心身の健康とスポーツ競技の能力向上への貢献を一層進めます。また、吹奏楽団は、定期演奏会などを通して、地域の皆さまの文化活動にも貢献いたしております。学生会をはじめ、ボランティア団体やゼミナール生が、定期的にゴミ拾いの活動を展開し、地域の美化に貢献いたしております。

2020年のオリンピック・パラリンピックの開催に備えて、学生の力を生かすために、「アジア自助協力プロジェクト」や「大会サポート事業連携プロジェクト」を、学長が総括責任者となり推進いたしております。

今後とも皆さまからご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

地域の方からのメッセージ

本学のキャンパスがある武蔵野市と日の出町、それに協定に基づく具体的な活動を平成30年度に開始した東久留米市の各市長、町長から地域交流に関するご挨拶をいただきましたので、ここに掲載いたします。



武蔵野市長
松下 玲子

「つながり」と「居場所」のある武蔵野市を目指して

大島学長をはじめ亜細亜大学の学生のみならず教職員の方々には、まちづくりや地域づくりに大変お世話になっております。武蔵野市民を代表してお礼を申し上げます。

貴大学とは、平成26年4月4日に「人材育成」と「地域社会発展」に寄与することを目的に、「包括的連携協力協定」を締結させていただきました。武蔵野地域五大学共同事業をはじめとする生涯学習のみならず、学校教育、スポーツ、文化、コミュニティ、まちづくりなど幅広い分野にわたり、積極的に地域との連携に取り組まれ、活力あるまちづくりに貢献していただいています。これからも新たな人材育成と豊かな地域創造を共に推進していきたいと存じます。

本年はいよいよラグビーワールドカップ2019が9月に開催されます。また来年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も開かれます。それら大会のメイン会場への玄関口である「武蔵境駅」は多くのインバウンドを迎えることとなります。駅前広場の各種

案内掲示板を駅前総合案内板により整理・集約し、武蔵境を訪れる方に駅周辺の主要施設案内などをより分かり易くいたしました。

あわせて、両大会に向けた機運醸成、市民のスポーツ活動への参加支援、障害者スポーツの振興、文化プログラムの振興、ルーマニアのホストタウンとしての取り組みなどを、貴大学をはじめ市民のみならずとも進めていきたいと考えております。

両大会は、スポーツの観客を迎えるだけではなく、世界各地の「文化」も一緒に迎えることになります。様々な文化は一人ひとりの心の豊かさや創造性をはぐくむと同時に、地域のつながりを強め、都市の魅力を高めるためにも力を発揮します。沢山の留学生が共に学び、アジア夢カレッジなど国際交流に実績のある貴大学と協力して世界の仲間をお迎えできればと思います。

今後も多様な価値が認められ、世界とつながる、魅力あるまちづくりを目指し、お互いに信頼でつながれた良きパートナーとして、共に歩んでまいりましょう。



東久留米市長
並木 克巳

さらなる相互連携、協力を

亜細亜大学の教職員の方々や学生の皆様には、各種審議会等の委員や、市事業へのボランティア参加等、様々な場面でのご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年3月に貴大学と本市、他3者による「産・官・学の包括連携による次世代を担う子どもたちの育成事業に関する協定」を締結し、平成30年度より、大学生ボランティアに企画・運営していただく児童館事業である「大学生と遊ぼう／学ぼう」が、機を同じくして新設した子どもセンターあおぞらにてスタートいたしました。この3月までに事業実施回数は9

回を数え、参加した子どもたちにも大変好評であると聞き及んでおります。

また、インターンシップに参加された貴大学の学生が、その後本市で活躍いただいているという嬉しい心強い実績もございます。

今後とも、両者が更に発展していくことを祈念するとともに、これまで以上の相互連携、協力へのお力添えをお願いして挨拶とさせていただきます。



日の出町町長
橋本 聖二

亜細亜大学の皆様との協働の推進を

亜細亜大学の教職員や学生の皆様には、まちづくりへのご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

貴大学と当町は、平成28年4月に包括的協働・連携協力に関する協定書を締結させていただきましたのを機に、お互いに協力し支え合う存在として、新たな一歩を踏み出しました。

特に、地域交流活動では、敬老福祉大会での貴大学吹奏楽団による演奏の披露、運動部の皆様による元旦健康マラソン、スポーツ教室での協働など、幅広い世

代の町民の方々との交流が年々広がっているところであり、参加される学生の皆さんにとっても有意義な経験、新たな発見の機会となっていれば幸いです。

今後ますます交流・協力の輪を広げ、未来への夢が広がるよう絆を深め共に歩んでまいりたいと願っております。

まずは、東京オリンピック・パラリンピックに向け一緒に盛り上げてまいりましょう！

平成30年度 地域交流活動報告書 CONTENTS

亜細亜大学の地域交流活動とは	1
地域交流の理念・目的・重点活動分野	1
学長の挨拶	1
地域の方からのメッセージ	2
平成30年度の活動足跡	
4月3日～8月18日	3～4
9月1日～11月11日	5～6
11月10日～12月23日	7～8
地域交流活動を支える学生団体	9～10
先輩から後輩へのバトンタッチ	10
平成30年度の活動足跡 1月13日～3月9日	11～12
その他の活動	12

新たに締結した協定	13
留学生による地域交流活動	13
武蔵野地域五大学	14
三鷹ネットワーク大学	14
公開講座一覧	15
大学施設開放 武蔵野キャンパス	15
大学施設開放 日の出キャンパス	16
小中学校への教育支援	16
教員による学外委員等一覧	17
学生団体地域交流活動連絡会	18
学生・主催者 満足度	18

平成30年度の 活動足跡

4月3日～8月18日



武蔵野警察署「武蔵野交通安全のつどい」



春の全国交通安全運動行事に応援指導部のチアリーダーが出演しました。式典のあと、武蔵野交通少年団による鼓笛隊演奏に続き、チアリーダー8名が登場。音楽に合わせて元気と笑顔絶やさずにチアリーディングの演技を繰り広げました。

期 日	平成30年4月3日(火)
場 所	JR吉祥寺駅北口 平和通り
主 催	武蔵野警察署・武蔵野市・武蔵野交通安全協会
出 演	応援指導部チアリーダー8名

家庭倫理の会講演会 保育ボランティア



小金井市にある宮地楽器ホールにて、家庭倫理の会が主催する講演会が行われ、聴講参加者が利用できる保育室での保育補助に学生が協力しました。接する機会が少ない学生にとって、子どもとの交流は貴重な経験になったようです。

期 日	平成30年4月14日(土)
場 所	小金井宮地楽器ホール
主 催	家庭倫理の会武蔵野中央
協 力	学友会1名、新入生研修委員会2名、一般奉仕会『細流』2名、学生有志2名

吉祥寺音楽祭吉祥寺通り商店会 自主イベント「愛とふれあいのステージ」



ゴールデンウィークの恒例行事・吉祥寺音楽祭の商店会自主イベント「愛とふれあいのステージ」に軽音楽部が出演。3名でしっとりとしたバラード系の曲を3曲演奏、多くの来場客に学生たちも充実した時間を過ごせたようです。

期 日	平成30年4月29日(日)
場 所	東急百貨店吉祥寺店 北側広場
主 催	吉祥寺通り商店会「愛とふれあいのコンサート」実行委員会
出 演	軽音楽部3名

第39回「憲法を記念する市民のつどい」



三鷹市公会堂「光のホール」で第39回「憲法を記念する市民のつどい」が開催され、本学から一般奉仕会『細流』、古典研究会の学生が運営協力として参加しました。会場設営や受付、案内のほか、講演会も聴講させていただきました。

期 日	平成30年5月12日(土)
場 所	三鷹市公会堂
主 催	三鷹市役所
協 力	一般奉仕会『細流』3名、古典研究会1名

第12回武蔵境ピクニック



晴天に恵まれた今年は、本学から運営協力で文連祭実行委員会が、イベントステージでは吹奏楽団が晴れやかな演奏で聴衆を魅了しました。また本学体育館前に設置したスタンプラリーチェックポイント（写真右）では来場者が570名を超えました。

期 日	平成30年5月12日(土)
場 所	武蔵境駅南口境南ふれあい広場、本学体育館前広場(スタンプラリーチェックポイント)
主 催	武蔵境ピクニック実行委員会
協 力	文連祭実行委員会5名、応援指導部5名
出 演	吹奏楽団29名

第36回わんぱく相撲武蔵野場所



第36回わんぱく相撲武蔵野場所が境南ふれあい広場公園で開催され、本学からは亜細亜大学ボランティアセンターの学生が呼び出し、誘導、まわし締め等で協力しました。

当日は多くの子どもたちが真剣に相撲に取り組んでいました。

期 日	平成30年5月13日(日)
場 所	境南ふれあい広場公園
主 催	武蔵野青年会議所
協 力	亜細亜大学ボランティアセンター16名

第1回わんぱく相撲秋川場所



本学からはアジア祭実行委員会、体育祭実行委員会の学生が初開催となるイベントの運営に協力し、子どもたちの誘導や土俵周りのサポート等を担当していました。当日は多くのちびっこ力士が参加し真剣な表情で取り組んでいました。

期 日	平成30年5月13日(日)
場 所	あきる野市秋川体育館、中央公民館大体育室
主 催	あきる野青年会議所
協 力	アジア祭実行委員会4名、体育祭実行委員会1名

コミセンまつり



コミセンまつりで応援指導部のチアリーダーが演技を披露、演劇研究会劇団『つた』が運営に協力しました。チアリーダーは難易度の高い技で来場客を魅了、運営協力の学生も子どもたちにバルーンアートの作り方を丁寧に教えていました。

期 日	平成30年6月2日(土)
場 所	西部コミュニティセンター
主 催	西部コミュニティ協議会
協 力	演劇研究会劇団『つた』5名
出 演	応援指導部9名

ごみゼロデー市内三駅周辺一斉清掃



武蔵野市が主催する「ごみゼロデー 市内三駅周辺一斉清掃」が今年も行われました。本学からは9団体24名の学生が参加し、市民の皆さんと一緒に最寄り駅の武蔵境駅周辺の環境美化に協力しました。

期 日	平成30年6月3日(日)
場 所	武蔵境駅周辺
主 催	武蔵野市
協 力	9団体24名(中央執行委員会2名、中央事務局3名、国際文化局3名、広報局4名、福利厚生局協働会3名、学生健康保険委員会3名、新聞委員会1名、アジア祭実行委員会4名、県人会連合会1名)

ヒガコ・サマーフェスティバル



東小金井駅南口のグラウンドでヒガコ・サマーフェスティバルが行われ、本学学生が運営に協力し、かき氷や焼き鳥、ソフトドリンク、綿あめ等の屋台で活躍しました。学生たちからは「地域や他校の方とも交流ができて有意義だった」との声が多く聞かれました。

期 日	平成30年8月3日(金)～4日(土)
場 所	日本歯科大学グラウンド
主 催	東小金井南口商店会
協 力	県人会連合会46名、アジア祭実行委員会5名

第8回さかい夜市



第8回さかい夜市が境南ふれあい広場公園で開催され、本学から県人会連合会が運営協力しました。学生たちは事前準備から参加、かき氷やジュース、ポップコーンの屋台を担当しました。学生たちから「来年もぜひ参加したい」との声が。

期 日	平成30年8月18日(土)
場 所	境南ふれあい広場公園
主 催	武蔵境活性化委員会
協 力	県人会連合会6名

平成30年度の 活動足跡

9月1日～11月11日



桜堤保育園秋祭り



夏休み中、アジア祭実行委員会の学生が受付や模擬店の準備、来場者の自転車の整理等運営の補助をボランティアとして協力しました。普段あまり関わることのない園児たちにも積極的に声をかけ、交流を図っていました。

期 日	平成30年9月1日(土)
場 所	桜堤保育園
主 催	桜堤保育園父母会
協 力	アジア祭実行委員会7名

やぎさわマーケット(第5回・第6回)



西武柳沢駅周辺のお店や地域の方の交流の場としてやぎさわマーケットが年間2回開催されました。学生たちは朝から出店者のためのテント張りや駐輪場の整理、メインイベントの抽選券の配布などを行いました。

期 日	第5回 平成30年9月23日(日) 第6回 平成31年3月30日(土)
場 所	ほうやちよう保育園園庭ほか
主 催	やぎさわマーケット実行委員会
協 力	第5回 9月23日(日) 県人会連合会5名、 卒業アルバム委員会2名 第6回 3月30日(土) 学友会中央執行委員会2名

武蔵野市民地域安全のつどい



武蔵野スイングホールにて武蔵野警察署主催で「武蔵野市民地域安全のつどい」が開催され、本学から応援指導部チアリーダーが演技を披露しました。ダンスや技を決めるたびに会場からは拍手が起こり、喝采のうちに終演となりました。

期 日	平成30年10月6日(土)
場 所	武蔵野スイングホール
主 催	武蔵野警察署
出 演	応援指導部チアリーダー 8名

けやき苑地域サービスイベント



本イベントは、若い、認知症、障がい、健康についての理解を深め地域交流、地域貢献を目的として開催されました。本学学生は、利用者の健康チェックやランチサービス、実演コーナー、模擬店のブースに入りイベントのお手伝いをしました。

期 日	平成30年10月7日(日)
場 所	三鷹市高齢者センターけやき苑 (三鷹市深大寺)
主 催	三鷹市高齢者センターけやき苑
協 力	亜細亜大学ボランティア センター14名

第34回武蔵野市民会館 文化祭



武蔵野市民会館で第34回市民会館文化祭が開催されました。本学からは漫画研究会の作品を展示させていただきました。また今回の文化祭の宣伝ポスターのデザインも、漫画研究会が担当しました。

期 日	平成30年 10月12日(金)～17日(水)
場 所	武蔵野市民会館
主 催	武蔵野市教育委員会
出 展	漫画研究会

平成30年度敬老福祉大会



2部構成で第1部では、日の出町在住のご高齢の方を対象に表彰を行う式典が、第2部では演芸と題し本学吹奏楽団による演奏が披露されました。アンコールで演奏した「川の流れるように」では、口ずさんでいる方や涙を流している方もいました。

期 日	平成30年10月13日(土)
場 所	日の出町立平井中学校体育館
主 催	日の出町 いきいき健康課 高齢支援係
出 演	吹奏楽団32名

西部コミセン文化祭



毎年恒例の西部コミセン文化祭に漫画研究会が日頃から作成しているイラストなどを展示させていただきました。

また、芸能発表のステージのお手伝いとして、学生会の学生がステージの幕引きや来場者の誘導等で活躍しました。

期 日	平成30年10月20日(土)・21日(日)
場 所	西部コミュニティセンター
主 催	西部コミュニティ協議会
協 力	学生会4名、漫画研究会(作品展示)

第36回むさしの子どもまつり



このイベントは地域の各団体の父母や先生、市民が自由に参加して、創意あふれる遊びを企画し子どもに楽しんでもらうもので、手作りの遊びがたくさん用意されていました。本学の学生は特設ステージでマジックを披露。子どもたちは時に身を乗り出して見ていました。

期 日	平成30年10月21日(日)
場 所	都立武蔵野中央公園
主 催	むさしの子どもまつり実行委員会
出 演	学生有志1名

武蔵野市総合防災訓練



武蔵野市総合防災訓練が行われました。その一環として「医療連携訓練」が市役所前のむさしの市民公園で実施されました。学生の役割は、震災での傷病者を緊急医療救護所まで搬送し、トリアージを受けた後に各治療エリアへ誘導・搬送する係でした。車椅子や担架を使用して、傷病者を励ましながら安全かつ迅速に搬送作業にあたっていました。訓練実施担当者から「亜大の学生は規律正しく、熱心に訓練にあたってくれるので、災害時も頼もしい存在」との講評をいただきました。

期 日	平成30年10月28日(日)
場 所	むさしの市民公園
主 催	武蔵野市
協 力	亜細亜大学ボランティアセンター11名

第18回西東京市民まつり



応援指導部チアリーダーと吹奏楽団がステージに出演、吹奏楽団はパレードでの演奏も行いました。このほか、一般奉仕会『細流』が「西東京市福島県人会」のブースで福島県復興活動を支援しました(写真右)。

期 日	平成30年11月10日(土)～11日(日)
場 所	西東京いこいの森公園
主 催	西東京市民まつり実行委員会、西東京市
協 力	一般奉仕会『細流』
出 演	応援指導部チアリーダー9名、吹奏楽団33名

東久留米市市民みんなのまつり



東久留米市役所前(写真右)と東久留米駅西口のロータリー(写真左)で繰り広げられた市民による和太鼓やダンスなどの発表で、学生会広報局の学生が二日間で延べ40団体を紹介する司会や誘導整理係を担当し、「市民みんなのまつり」を盛り上げました。

期 日	平成30年11月10日(土)～11日(日)
場 所	東久留米市役所前、東久留米駅西口
主 催	東久留米市役所
協 力	中央執行委員会1名、広報局9名

平成30年度の 活動足跡

11月10日～12月23日



第11回イルミネーション点灯式



点灯式開始15分前から「クリスマスフェスティバル」や「恋人たちのクリスマス」等、馴染み深いクリスマス曲を吹奏楽団が演奏しました。カウンタウンと共に華やかにイルミネーションが点灯、同時にファンファーレが演奏されました。

期 日	平成30年11月10日(土)
場 所	武蔵境駅前北口広場
主 催	武蔵境商店会連合会 イルミネーション実行委員会 武蔵境活性化委員会
出 演	吹奏楽団32名

第11回むさしの環境フェスタ



学生たちが来場者の受付や案内、不用になった電化製品の回収など、積極的に活動してくれました。また、「大学でのエコ活動」をテーマに環境に配慮した取り組みについてもパネルで展示しました。

期 日	平成30年11月11日(日)
場 所	武蔵野クリーンセンター
主 催	武蔵野市
協 力	亜細亜大学ボランティアセンター8名

西部コミセン オータムコンサート



西部コミュニティセンターの秋のイベントとして、オータムコンサートが行われました。吹奏楽団が地域の方に楽器紹介や馴染みのある曲を演奏して、音楽の秋を楽しんでもらいました。

期 日	平成30年11月17日(土)
場 所	西部コミュニティセンター
主 催	西部コミュニティ協議会
出 演	吹奏楽団26名

境福祉の会祝20周年記念式典



1部は式典、2部に武蔵野市立第二小学校の箏、囃子の演奏、会員による独唱の後、最後で軽音楽部が出演しました。「ブラウンシュガー」「丸の内サディスティック」に続いて、最後に「ふるさと」を演奏し、会場の方々と一体となりました。

期 日	平成30年11月18日(日)
場 所	武蔵野スイングホール
主 催	境福祉の会
出 演	軽音楽部5名

キャンパスデーinアスタ



FM西東京開局20周年の公開イベントとして、吹奏楽団5名が田無駅前にある田無アスタ専門店街2階のセンターコートでアンサンブルを披露しました。馴染みのある曲を演奏すると買い物途中の人たちも足を止めて聴き入っていました。

期 日	平成30年11月18日(日)
場 所	田無アスタ専門店街 2階センターコート
主 催	エフエム西東京
出 演	吹奏楽団5名

市内一斉清掃



武蔵野市主催で市内一斉清掃が行われました。本学の14団体・委員会から39名の学生が参加しました。地域の方々と共に武蔵境駅周辺のごみを拾い、武蔵野市の環境美化に大きく貢献しました。

期 日	平成30年11月25日(日)
場 所	武蔵境駅周辺
主 催	武蔵野市
協 力	学友会有志39名

第6回ふじみまつり



三鷹市と調布市のごみを処理している組合が、両市民の交流する場としてごみ処理施設への理解やごみ減量などを目的に開催。学生たちは来場者約3,000名が楽しく過ごせるようにと受付、模擬店、会場整理、司会などを分担して協力しました。

期 日	平成30年11月25日(日)
場 所	クリーンプラザふじみ
主 催	ふじみ衛生組合
協 力	亜細亜大学ボランティアセンター38名

境南コミセンクリスマス会



クリスマス会に学生が参加協力、バルーンアートを作成して子どもたちとのふれあいの時間を楽しみました。学生たちは独自に練習し、当日はブードルやキリンなどさまざまなバルーンを作って子どもたちにプレゼントしていました。

期 日	平成30年12月9日(日)
場 所	境南コミュニティセンター
主 催	境南コミュニティ協議会
協 力	学生有志4名

環境浄化官民合同パトロール



安心・安全な街づくりのための武蔵野警察署主催のパトロール。警察署関係者のほか防犯協会や市民団体に混じって剣道部の学生3名も、降雨でコース変更となった吉祥寺のダイヤ街、サンロードを往復し、環境浄化を呼びかけました。

期 日	平成30年12月11日(火)
場 所	吉祥寺駅北口周辺
主 催	武蔵野警察署
協 力	剣道部3名

ヒガコ・クリスマスフェスティバル



県人会連合会の学生たちが、ご当地の飲物販売や射的を出店しました。飲物も完売し、中でも射的はたくさんの来場した子どもたちで賑わいました。出店責任者を務めた学生は「初めての出店責任者で戸惑いもありましたが、この経験を活かし、これからも頑張りたいです」と話していました。

期 日	平成30年12月15日(土)
場 所	ヒガコ・ワンダーストリート
主 催	東小金井南口商店会
協 力	県人会連合会22名

日の出町大久野小学校イルミネーション2018クリスマスイベント



午後開催されるクリスマスイベントで、会場の設営準備のほか、ステージに出演する平井中学校の吹奏楽部や合唱、和太鼓演奏をする大久野小・中学校の児童・生徒などを誘導しました。最後には、打ち上がるクリスマスの花火を参加者と楽しみました。

期 日	平成30年12月23日(日)
場 所	日の出町立大久野小学校
主 催	大久野を明るくする会
協 力	サッカー部6名

地域交流活動を支える学生団体

この1年間も、多くの学生団体が地域での各種イベントの運営に協力するとともに、出演・出店もしてくれました。ここにそうした各団体を紹介します。

学友会団体



中央執行委員会

学生総会、代議員会において承認された事項を執行する学生自治会・学友会の「最高執行機関」です。学友からの意見・要望に応え、学生生活向上のため日々活動しています。



アジア祭実行委員会

本学最大のイベントである「アジア祭」の企画・運営を行っています。地域向けの催物として「子ども縁日」を開催。また開催60回を記念して、武蔵野市で採れた野菜を限定販売しました。地域のイベントにもボランティアとして数多く参加しています。



文連祭実行委員会

6月に文化系クラブの祭典「文連祭」を開催しています。語劇祭、音楽祭などさまざまな企画があり、前夜祭では地元の和太鼓演奏団体とのコラボ演奏なども行っています。



体育祭実行委員会

毎年5月に日の出キャンパスで開催される「体育祭」の企画・運営を行っています。次年度が60回ということもあり、日の出町の子供たちによる競技も予定しています。



県人会連合会

各県での郷土に関連したイベントの企画・運営を行っており、郷土意識の高揚に努めています。地域イベントにも積極的に参加しています。

学術文化連合会



亜細亜大学ボランティアセンター

まちづくりや国際協力交流、そして、社会福祉などの社会貢献活動を中心に幅広いボランティア活動を行っている学生数の多いボランティア団体です。



一般奉仕会「細流」

武蔵野市を中心に地域密着型のボランティア活動を長年にわたって地道に行っています。昭和45年にできた伝統のある団体です。



演劇研究会「つた」

演技以外にも音響照明などに力を入れてより良い舞台づくりに励んでいます。その他、地域イベントの運営にも協力しています。創部は昭和33年です。



古典研究会

大学と同じ昭和30年にできた団体です。長く華道と茶道を実践活動として行ってきましたが、近年は茶道が中心となっています。



吹奏楽団

アンサンブルからバレード演奏まで、地域社会における幅広い演奏活動を行っています。恒例の定期演奏会のほか地域での数多くのイベントに出演、協力しています。東京都大学吹奏楽コンクールでは金賞を受賞しました。



軽音楽部

ジャズを中心に演奏を行っています。地域のイベントにも数多く出演しており、「武蔵境JAZZ SESSION」には毎年出演しています。



漫画研究会

「マンガ班」「イラスト班」「ゲーム班」に分かれて活動をしています。イベント宣伝ポスターなどのイラスト作成にも積極的に応え活動しています。初めて、この活動報告書の表紙デザインも作成してくれました。



平成30年7月の1号館（14階建）完成後に撮影した航空写真です。時計棟の総合研究館と正門を構えた旧1号館が順に取り壊されます。武蔵野キャンパスとして最も建物が多き時期の写真といえます。ここで学ぶ学生たちが地域で活躍しています。

体育会



応援指導部

男子リーダー部、女子チアリーダー部、プラスバンド部の三部門から構成されており、地域のイベントや学内の式典などで応援活動の一部を披露しています。



陸上競技部

箱根駅伝総合優勝の実績もあります（2006年）。練習・生活拠点となっている日の出町でのランニング教室などに監督、学生たちが協力しています。



硬式庭球部・アジア女子ローンテニス部

主に日の出町のスポーツ教室などに協力し、自らテニスクリニックなども開催しています。男女ともに関東のトップリーグで活躍しています。



硬式野球部

大学日本一に数多く輝いている名門野球部で、地域貢献の一環として春夏のキャンプ地はもちろん多摩地区の小中学生を中心に少年野球教室を開催しています。



サッカー部

以前は関東大学サッカー1部リーグにも所属していました。日の出町に寮を構え、上部リーグ復帰を目指しています。日の出町でのスポーツ教室に協力しています。



剣道部

40年以上にわたる少年剣道大会の開催運営には実績があり、武蔵野市の官民合同バトロールなど地域交流活動へも積極的に参加しています。

あとは頼む！ 任せてください！

先輩から後輩へのバトンタッチ

各団体の連絡窓口となってくれる新旧の主務によるバトンタッチの写真です。

学外副委員長



先輩 村上 優太郎さん 後輩 萩原 大吾さん

亜細亜大学 ボランティアセンター



先輩 森田 智貴さん 後輩 西本 大起さん

一般奉仕会【細流】



先輩 中村 太一さん 後輩 武田 旭飛さん

吹奏楽団



先輩 石黒 奈々子さん 後輩 星野 杏香さん

応援指導部



先輩 菅家 翼さん 後輩 土田 大樹さん

アジア祭実行委員会



先輩 野川 純矢さん 後輩 田中 直樹さん

県人会連合会



先輩 小畑 開さん 後輩 樋渡 浩紀さん

漫画研究会



先輩 小林 忍さん 後輩 小谷野 晴登さん

平成30年度の 活動足跡

1月13日～3月9日



第4回多摩地区リトルシニア野球教室



1月の恒例イベントとなりつつある多摩地区のリトルシニアチームを対象とした野球教室が今年も開催され、8チームから200名を超える中学生が集まりました。バッティングのほか各ポジションに分かれた守備では硬式野球部員から細かく指導を受けていました。

期 日	平成31年1月13日(日)
場 所	亜細亜大学日の出グラウンド
支援協力	硬式野球部
参 加	多摩地区リトルシニア中学生 硬式野球9チーム(約200名)

日の出商工会30周年記念式典



日の出キャンパスのある日の出町の商工会30周年を記念した式典で、応援指導部のチアリーダーが演技を披露しました。式典の始まる前、挨拶や技の紹介のあと、およそ4分間にわたって演技、大きな拍手が送られていました。

期 日	平成31年1月26日(土)
場 所	イオンモール日の出・映画館内
主 催	日の出町商工会
出 演	応援指導部チアリーダー 7名

日の出町 亜細亜大学で行うスポーツ教室



本学のスポーツ団体の活動拠点・日の出町が本学のグラウンドで行う小中学生を対象としたスポーツ教室に、4団体の学生が協力しました。子どもたちと一緒に声を出し合い、指導することで学生も学ぶことが多かったようです。

期 日	平成31年1月27日(日)
場 所	亜細亜大学日の出グラウンド
主 催	日の出町教育委員会
協 力	硬式野球部、陸上競技部、 硬式庭球部、アジア女子ローン テニス部、サッカー部(計160名)

第4回亜細亜大学地域ファミリーコンサート



今回は近隣の桜野小学校吹奏楽クラブと共演をしました。毎年恒例となってきた本コンサートは、子ども連れなど約1,000名のお客様に来場していただき、耳だけでなく、見ても楽しい、参加型のコンサートとなり大盛況でした。

期 日	平成31年1月27日(日)
場 所	亜細亜大学3号館講堂
主 催	亜細亜大学
出 演	バーチャリー・パ・ソサエティほか

第16回武蔵境JAZZ SESSION



武蔵境駅北口のスイングビル2階にある武蔵野スイングホールで開かれたジャズイベントに、軽音楽部が出演、昼の部(第1部)のトップバッターを務めました。学生たちは、華やかな電飾に包まれながら気持ちよさそうに演奏していました。

期 日	平成31年2月23日(土)
場 所	武蔵野スイングホール
主 催	武蔵境商店会連合会・ 武蔵野市観光機構
出 演	軽音楽部4名

ボッチャ東京カップ2019



パラリンピックの競技でもあるボッチャの東京大会が、3月9日に行われ、前日の準備と当日の運営にボランティアとして学生が参加しました。

武蔵野総合体育館で行われた大会の前日には、椅子やテーブルなどの設営を、当日は受付や参加者の支援、大会運営に携わっていました。

期 日	平成31年3月9日(土)
場 所	武蔵野総合体育館(武蔵野市)
主 催	一般社団法人日本ボッチャ協会
協 力	亜細亜大学ボランティアセンター1名、学生有志3名

第5回西部コミセンちびっこ運動会



本学の2号館北側にある西部コミュニティセンター(体育館)で、5回目となるちびっこ運動会が行われ、学生8名がその運営に協力しました。主に未就学児を対象としたかけっこや親子一緒にの競技、玉入れなどの準備や進行に携わり、活躍していました。

期 日	平成31年3月9日(土)
場 所	西部コミュニティセンター
主 催	西部コミュニティ協議会
協 力	県人会連合会8名

その他の活動

企業からの依頼演奏

期 日	平成30年4月2日(月)
場 所	ホテルニューオータニ
主 催	日神不動産
出 演	吹奏楽団24名

小岩パレード

期 日	平成30年5月26日(土)
場 所	江戸川区小岩フラワーロード
主 催	江戸川区第44回花壇コンクール実行委員会
出 演	吹奏楽団23名

イオンモール日の出「ギネス世界記録に挑戦」

期 日	平成30年7月22日(日)
場 所	イオンモール日の出
主 催	イオンモール日の出/日の出町産業観光課共催
協 力	硬式野球部、陸上競技部、サッカー部(合計30名)

小金井なかよし市民まつり

期 日	平成30年10月21日(日)
場 所	小金井公園
主 催	小金井なかよし市民まつり実行委員会
出 演	吹奏楽団30名

東久留米市移動児童館

期 日	平成30年10月27日(土)
場 所	東久留米市立小山小学校 体育館
主 催	東久留米市
協 力	学生有志2名

立川市ワークショップ

期 日	平成30年12月8日(土)
場 所	立川市役所
主 催	立川市
協 力	都市創造学部3年生の有志学生1名

東久留米市子供土曜塾

期 日	平成30年12月12日(水)
場 所	東久留米市立小山小学校
主 催	東久留米市
協 力	学生有志2名

第48回元旦健康マラソン大会

期 日	平成31年1月1日(火)
場 所	日の出町民グラウンドほか
主 催	日の出町体育協会
協 力	陸上競技部

児童の居場所づくり

期 日	平成31年1月7日(月)
場 所	野火止地区センター
主 催	東久留米市
協 力	学生有志1名

子育て中の方のためのモーニングコンサート

期 日	平成31年3月8日(金)
場 所	武蔵野市民文化会館 小ホール
主 催	武蔵野市
出 演	吹奏楽団23名

新たに締結した協定

「産・官・学の包括連携による次世代を担う子どもたちの育成事業に関する協定」の締結

東久留米市とは、すでに平成28年に「包括的連携協力に関する協定」を締結していますが、子どもたちの育成支援を目的として、新たに産官学五者による協定を平成30年3月28日に東久留米市役所で締結しました。

連携する五者は、本学と東久留米市、株式会社明日葉、株式会社イトーヨーカ堂、東邦運輸株式会社です。

平成30年4月に開設した東久留米市の新児童館「子どもセンターあおぞら」において実施している学びの支援事業「大学生と学ぼう・遊ぼう」に対し、連携五者がそれぞれの強みを活かし、フードロス食品の提供、輸送、プログラムの企画・実施、事業の管理運営等を担っています。

本学は、このプログラムにボランティア学生を派遣することで、子どもたちの健やかな成長に貢献しています。



期 日	平成30年3月28日(水)
場 所	東久留米市役所

支援事業「大学生と学ぼう・遊ぼう」

子どもたちの育成事業に関する協定に基づく具体的な活動として、平成30年5月5日から、平成31年3月2日までの計9回にわたって、「子どもセンターあおぞら」（東久留米市前沢4丁目）にて支援事業「大学生と学ぼう・遊ぼう」を開催しました。

10月には「ひと裁ち折りて秋の森をつくろう」、1月には「空気砲、ろ過装置の作成実験」などの子ども向けの企画を学生が考えて実施してきました。企画は大好評で、毎回参加してくれるお子さんもいるなど、地域の子育て支援に一役買っています。

この活動には、法学部の学生と教職課程履修学生などが協力しています。



期 間	平成30年5月5日(土)から平成31年3月2日(土)までに9回実施
場 所	東久留米市児童館「子どもセンターあおぞら」
主 催	東久留米市ほか五者による連携事業
協 力	法学部学生、教職課程履修学生ほかのべ93名

留学生による地域交流活動

国際交流パーティー



今年で44回目となった留学生会主催による「国際交流パーティー」は、日頃からいろいろとお世話になり、ご支援、ご協力をいただいている方々を招待し、留学生が自国の料理を実際に作って食べていただくというイベントです。

留学生たちは、数日前から準備したり、当日校内で調理し火を通したりして、一生懸命に料理を作っていました。パーティーでは、留学生とその招待者などおよそ240名が、一緒にゲームをしたり、留学生による自国の踊りなども披露されるなど、楽しく和やかなムードに包まれていました。

期 日	平成30年6月16日(土)
場 所	ASIA PLAZA2階
主 催	亜細亜大学留学生会

留学生別科生による小学校訪問



1年間日本語を学び、大学などへの進学を目指す留学生別科生が、授業である「日本事情」の一環として、大学に程近い武蔵野市立桜野小学校を訪れました。

留学生は、小学生の授業と一緒に受けたあと、交流会に参加。緊張の中、挨拶や自国の食文化を紹介していました。そのあと、椅子取りゲームと一緒に楽しむクラスもあり、徐々に和やかな雰囲気になりました。

小学生と一緒に給食を食べることもできました。最後の挨拶が終わっても、留学生と話をする児童もいて「クラスみんなと仲良くなれて楽しかった」といった感想を述べていました。

期 日	平成30年10月11日(木)
場 所	武蔵野市立桜野小学校
参加者	留学生別科生30名

都立田無高校生との交流会



留学生別科で日本語を学んでいる9か国からの留学生27名が、都立田無高校での交流会に参加しました。

1年生の8クラスに分かれ、高校生が考えたかるたや折り紙、けん玉、こま回し、習字などの日本文化に触れながら、1時間半余りの交流を楽しみました。

交流会終了後、校内の施設を見学し、「学校にプールがあるんだ」と驚きの感想を話す留学生が複数いました。

期 日	平成30年11月28日(水)
場 所	都立田無高等学校(西東京市)
参加者	留学生別科生27名

武蔵野地域五大学

武蔵野市と武蔵野地域の五大学（亜細亜大学・成蹊大学・東京女子大学・日本獣医生命科学大学・武蔵野大学）が連携する大学コンソーシアムで、各大学が保有する知的資源を活用し、生涯学習の機会として提供しているものです。事前申し込みにより、市民が各大学の各種講座を受講していますが、本学で開講された講座・講演会は、以下のとおりです。

■ 武蔵野市寄付講座「現代教養特講」

開講期間：平成30年9月26日(水)～平成31年1月23日(水) 全15回
開講時間：12時50分～14時20分(第3時限)
会 場：200教室
テ ー マ：現代日本における多文化共生
コーディネーター：国際関係学部多文化コミュニケーション学科
高山陽子教授、今野裕子講師



■ 共同教養講座



開講期間：平成30年7月7日(土)～28日(土) 毎土曜日全4回
開講時間：午後1時30分～3時
会 場：564教室
テ ー マ：韓国企業の経営特徴とゆくえ
講 師：張 相秀 都市創造学部教授

■ 共同講演会



開 講 日：平成30年10月10日(水)
開講時間：午後2時30分～4時
会 場：7100教室
テ ー マ：デジタル化の進展とアジア・日本経済の将来
講 師：後藤康浩 都市創造学部教授

三鷹ネットワーク大学

本学は三鷹ネットワーク大学の理事会員（正会員）として加盟しています。教育・研究機関と協働して三鷹市民に、より高度な生涯学習の場を提供しています。今年度は次の講座を開講しました。

■ 亜細亜大学提供講座

亜細亜大学寄付講座・西武信用金庫後援／亜細亜大学、西武信用金庫、アジア・国際経営戦略学会、次世代創造協同組合共同企画講座
開講期間：平成30年10月3日(水)～平成31年3月13日(水) 全10回
テ ー マ：開かれたアジアで価値共創に挑む企業へ
講 師：池島政広 元亜細亜大学学長ほか9名



■ 三鷹「通」養成講座 大人のキャンパスツアー

特定非営利活動法人みたか都市観光協会の寄付講座として、三鷹「通」養成講座 大人のキャンパスツアーが、平成31年3月7日(木)に行われました。

本学での初めての講座で、朝10時から2時間にわたって、大学の歩みや教育的な特徴をはじめ、学園史展示室や学内の各施設・建物について職員からの説明を受けながら見て回りました。参加した三鷹市民9名からは、大学としては珍しい学内にいる興亜神社や新しい施設に質問が出るなど、大いに興味深い様子でした。



公開講座一覧

<経営学部>

■ トップマネジメント特別講義

期間・回数：10月4日(木)～12月20日(木) 全6回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 200教室

テ－マ：人を幸せにする挑戦

■ ホスピタリティマネジメント特別講義

期間・回数：4月12日(木)～7月26日(木) 全15回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 511教室

■ ホスピタリティビジネス特講I(京王プラザホテル寄附講座)

期間・回数：9月26日(水)～平成31年1月23日(水) 全15回

時間・場所：16:10～17:40(第5時限) 511教室

■ スポーツホスピタリティ概論

期間・回数：9月27日(木)～平成31年1月24日(木) 全15回

時間・場所：16:10～17:40(第5時限) 511教室

<経済学部>

■ 日本経済の現状と課題

期間・回数：4月17日(火)～7月10日(火) 全12回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 200教室

■ 経済学特講II(西武信用金庫寄附講座)

期間・回数：10月2日(火)～12月18日(火) 全10回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 511教室

■ 企業論I(東京経営者協会提供講座)

期間・回数：4月20日(金)～7月13日(金) 全12回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 200教室

<法学部>

■ 現代市民法講座

期日・回数：12月1日(土)・12月8日(土) 2日間計4講座

時間・場所：13:30～14:30、15:00～16:00(1日2講座) 235教室

<国際関係学部>

■ インターナショナル・フォーラム

期間・回数：10月1日(月)～平成31年1月7日(月) 13回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 200教室

<全学共通科目>

■ 連続討論会「街づくり未来塾」

テ－マ：まちを知り、住み続けられるまちの未来像を描く

☆前期

期日・回数：5月29日・6月19日・7月10日・7月24日 各火曜日全4回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 523教室

☆後期

期日・回数：11月13日・12月4日・1月8日・1月22日 各火曜日全4回

時間・場所：14:30～16:00(第4時限) 523教室

<アジア研究所>

■ 第38回公開講座

テ－マ：中国の「夢」は実現するのか

期間・回数：6月2日～6月30日 毎週土曜日 全5回

時間・場所：14:00～15:30 512教室

■ セミナー「アジア・ウォッチャー」(計3回)

○開講日：4月21日(土)

テ－マ：国際経済統合下のベトナム経済

時間・場所：14:00～15:30 544教室

○開講日：10月13日(土)

テ－マ：マレーシアの今～マハティール首相復活でどう変わるか～

時間・場所：14:00～15:30 544教室

○開講日：1月12日(土)

テ－マ：米中貿易戦争の現状と今後の展望

時間・場所：14:00～15:30 544教室

<その他>

■ 銀青会講演会

開講日時：3月7日(木) 13:00～14:30

テ－マ：最近の中国情勢と庶民の暮らし

場 所：227教室

講 師：遊川和郎 アジア研究所教授



大学施設開放 武蔵野キャンパス

■ 図書館開放

地域貢献活動の一環として、近隣の中学校や高等学校の生徒に図書館を体験してもらう目的で平成27年度から夏季に、平成29年度からは春季にも開放プログラムを実施しています。大学図書館で、学術専門書に触れる機会のほか、AV資料の視聴、語学ブースの英語その他の外国語の学習なども可能となっています。



● 夏季

利用期間 平成30年8月7日(火)～8月9日(木)、

8月21日(火)～9月20日(木)

※利用ガイダンスを8月7日(火)・8日(水)に実施。

● 春季

利用期間 平成31年2月6日(水)～3月22日(金)の図書館閉館日

※夏季・春季ともに、利用時間は午前9時から午後5時まで。

■ 二六中ブロックソフトバレーボール大会

武蔵野市立第二中学校と第六中学校の生徒や教員、及び父母などの関係者によるソフトバレーボール大会の会場として、体育館を開放しています。無事に、そして楽しくプレーしたあとは、全員でASIA PLAZA2階でカレーライスを食べながら、大会を振り返り談笑していました。

期 日	平成30年12月8日(土)
場 所	体育館フロア、ASIA PLAZA
主 催	武蔵野市青少年問題協議会「二六中ブロック会」

■ 夏期ラジオ体操

青少年問題協議会(青少協)による夏休み最後の1週間で実施されるラジオ体操が、今年度も体育館前広場で行われました。インストラクターの指導のもと、始業前1週間での規則正しい生活リズムの取り戻しに役立ったようです。

期 間	平成30年 8月25日(土)～31日(金)
場 所	体育館前広場
主 催	青少協桜野地区委員会

大学施設開放 日の出キャンパス

施設名	野球場	第2野球場	サッカー場	セミナーハウス
利用団体	日の出町/東都大学野球連盟	多摩地区リトルシニアチーム/ 高校野球部及びソフトボール部ほか	中学生サッカーチーム/ 高校サッカー部ほか	本校卒業生・団体/中学 高校運動部団体ほか
年間貸出回数	3回	約100回	約30回	約100回



セミナーハウス



サッカー場

小中学校への教育支援



■ 武蔵野市立桜野小学校「町たんけん」

期 日：平成30年9月19日(水)・20日(木)
時 間：各日9:00~12:00
来学者：桜野小学校2年生計178名と
教員6名、保護者15名

〈概要〉

社会科の一環「町たんけん」として、地元の教育機関や商店街、病院、コミュニティーセンターなどを見て回るもので、1日3クラス、二日間にわたって計6クラスの児童が本学を訪れ、地域交流課職員のご案内のもと学園史展示室、1号館(1階のみ)、511教室、3号館講堂、ASIA PLAZAなどをそれぞれ45分間にわたって見学しました。



■ 武蔵野市立第二小学校 3年生の施設見学・インタビュー対応

日 時：平成30年11月20日(火)
11:00~12:00
人 数：3年生児童8名、保護者2名、
計10名

〈概要〉

8号館(国際交流会館)、ASIA PLAZA、学園史展示室(太田耕造記念館)と1号館の説明、3号館講堂を見学。その後小学生からのインタビュー(質問)に地域交流課職員が回答しました。



■ 武蔵野市立第二小学校 6年生の施設見学

日 時：平成31年2月19日(火)
10:45~12:00
人 数：6年生8名(ほかに保護者1名)

〈概要〉

学園史展示室での大学の歴史や建学の精神などについての説明をはじめ、3号館講堂や興亜神社、ASIA PLAZAなどを案内し、説明を行いました。



■ 武蔵野市立第二中学校道徳授業

日 時：平成30年5月19日(土)
10:50~11:30
場 所：武蔵野市立第二中学校 体育館
協 力：吹奏楽団(30名)

〈概要〉

近隣中学校での「道徳」の授業(地区公開講座)で、吹奏楽団が演奏だけでなく、体験を生徒に話す時間もありました。授業の一環として、楽団主将が自分の体験を生徒の前で話し、生徒と質疑応答も。そしてそのあとで演奏を繰り広げ、体育館いっぱい吹奏楽の音色を響かせました。



■ 職場体験学習

期 間	学校名	学 年	人 数	受け入れ部署
平成30年 5月29日(火)~31日(木)	武蔵野市立第二中学校	2年生	4名	学術情報課、広報課、国際交流課(英語教育センター)、 地域交流課、キャリアセンター
平成30年 11月13日(火)~15日(木)	都立武蔵高校附属中学校	2年生	4名	学術情報課、国際交流課(英語教育センター)、 生涯学習課、地域交流課

■ 土曜学校「亜細亜大学経営学教室」

期 日	平成30年6月16日(土)
場 所	亜細亜大学ASIA PLAZA 4階ホール
主 催	武蔵野市教育委員会
支援協力	AUSCPシニアコミティ学生
参 加	武蔵野市内小学生37名



教員による学外委員等一覧

■ 各種委員会・審議会の委員等

本学教員が平成30年度内に務めていた学外の各種委員会や審議会などの一覧を掲載します。教員本人から提出されたもののみで、学部ごとに五十音順に掲載しています。

大島正克学長	公益財団法人武蔵野国際交流協会評議員
	武蔵野市特別報酬等審議会会長代理
	東京地区教職課程研究協議会会長
	学校法人晃華学園監事
	公認会計士・監査審査会公認会計士試験委員
	公益財団法人全日本大学野球連盟評議員
	一般財団法人東都大学野球連盟副理事長

<経営学部>

板垣 文彦教授	武蔵野市社会教育委員会委員
	東京地区教職課程研究協議会会長代行 (H29.5~H31.5) (会長は大学持ち回りで亜細亜大学学長)
石黒 えみ教授	港区立スポーツ施設指定管理者候補者選考委員会委員
	横浜市教育委員会 横浜の部活動の未来を考える懇談会委員
久保田 美穂子准教授	経済産業省地域経済牽引事業先進性評価委員会委員
	経済産業省コンテンツ産業強化事業費補助金第三者委員会委員
	観光庁ユニバーサルツーリズムの促進に向けた実証事業審査・評価委員会委員長
	公益財団法人中央温泉研究所理事
	ツアーグランプリ2018一次審査委員会委員
重たみゆき教授	一般社団法人 日本印象行動学会理事長
	一般社団法人 日本ケアビューティ協会理事
	みやぎ観光PR大使
	いしのまき観光大使 (2019.3.27日より)
高石 光一教授	経済産業省、中小企業庁、東京都商工部、中小企業基盤整備機構等各種委員・委員長
	一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS) 研修講師
高橋 量一教授	都立田無高等学校運営連絡協議会委員
三門 準准教授	公益財団法人日本語教育学会第3期代議員
茂木 信太郎教授	松本市地産地消推進会議議長
	公益財団法人 日本食肉消費総合センター評議員
	特定非営利活動法人 結婚相手紹介サービス業認証機構理事長
	一般社団法人 ソーシャルプロダクト普及推進協会理事・副会長
	一般財団法人 アジアフードビジネス協会理事
	一般社団法人 日本フードアナリスト協会試験検定委員
	「結婚相手紹介サービス業高齢者雇用推進委員会」(一般社団法人 日本結婚相手紹介サービス協議会、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構) 座長
	「福島県産食肉風評被害対策販売支援事業推進委員会」(公益財団法人 日本食肉消費総合センター) 委員
	「福島支援のためのマネキン派遣事業検討部会」(公益財団法人 日本食肉消費総合センター) 委員・部会長
	「食肉意識調査検討委員会」(公益財団法人 日本食肉消費総合センター) 委員
S1スーパーグランプリ全国大会 (NPO法人 繁盛店への道) 審査員	

<経済学部>

猪原 龍介准教授	独立行政法人 経済産業研究所 (RIETI) 研究プロジェクト「イノベーションを生み出す地域構造と都市の進化」プロジェクトメンバー
	独立行政法人 日本貿易振興機構 (JETRO) アジア経済研究所 高度人材型任期付研究員選考委員会委員
	公益社団法人 日本交通政策研究会 研究プロジェクト「通勤鉄道混雑と都市集積の経済分析」研究メンバー
奥井 智之教授	司法試験(司法試験予備試験) 考査委員(法務省)
	奈良市観光大使
権丈 英子教授	総務省地方財政審議会地方公務員共済組合分科会委員
	厚生労働省労働政策審議会勤労者生活分科会会長代理
	厚生労働省労働政策審議会雇用環境・均等分科会委員
	厚生労働省社会保障審議会児童部会委員
	仕事と生活の調和推進官民トップ会議(内閣府) 構成員
	仕事と生活の調和推進・評価部会(内閣府) 構成員
	日本私立学校振興・共済事業団共済運営委員会委員
	武蔵野市男女平等推進審議会会長
	荒川区男女共同参画社会推進区民会議会長
	東京地方労働審議会家内労働部会委員
埼玉県職業能力開発審議会会長	
土肥原 洋教授	一般社団法人日本リサーチ総合研究所「平成30年度県民経済計算標準方式」研究会委員長
	一般社団法人日本セバタクロ協会理事
長浜 尚史教授	公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団評議員会長
	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団スポーツ相談員
山本 薫特任教授	異文化コミュニケーション学会運営委員会プログラム委員長

<法学部>

加藤 隆之教授	情報サービス産業協会 プライバシーマーク審査会委員
	OECD (経済協力開発機構) プライバシーガイドライン専門家会メンバー
	府中市情報公開・個人情報保護審議会会長
	放送セキュリティセンタープライバシーマーク付与適格性審査会委員長
木原 浩之教授	日本情報経済社会推進協会APEC越境プライバシールール (CBPR) 認証審査会委員長
	日本情報経済社会推進協会プライバシーマーク審査委員会委員
	八王子情報公開・個人情報保護運営審議会委員
長田 秀一教授	小倉市図書館協議会委員
平井 文三教授	武蔵野市行政不服審査会委員 (2020.3末まで)
	東久留米市まち・ひと・しごと創生推進懇談会会長 (2020.7.22まで)
三浦 朋子准教授	東久留米市事務事業に関する外部評価会議委員 (2020.3末まで)
	関東弁護士連合会法教育センター顧問
室井 敬司教授	東久留米市長期総合計画基本構想審議会委員
	武蔵野市情報公開・個人情報保護審査会会長
	武蔵野市歴史公文書等管理委員会委員
	東京都六市競艇事業組合情報公開・個人情報保護審査会委員
	葛飾区行政不服審査会委員
	世田谷区情報公開・個人情報保護審議会副会長
	中野区個人情報保護審議会会長
厚生労働省 医道審議会臨時委員・薬剤師分科会委員	

<国際関係学部>

秋月 弘子教授	法務省第7次出入国管理政策懇談会委員
	外務省「女性・平和・安全保障に関する行動計画」評価委員会委員
	(公益財団法人) 東京オリンピック・パラリンピック組織委員会 持続可能な調達ワーキンググループ座長
	(公益財団法人) 国連大学協会助成・寄附諮問委員会委員
	国連女子差別撤廃委員会 (CEDAW) 委員

<都市創造学部>

安登 利幸教授	(一財) 地域総合整備財団「公民連携調査研究会」委員長
	東京都「有明アリーナ」管理運営事業審査委員会委員
	栃木県「栃木県新青少年教育施設整備運営事業者選定委員会」委員長
	青森県「新青森県総合運動公園新水泳場等整備運営事業PFI事業者選定審査委員会」委員
	さいたま市「PFI等検討委員会」委員長
	立川市「行政アドバイザー」
	和光市「広沢国有地等活用基本計画策定委員会」委員長
	三浦市「公共下水道事業における民間資金等活用検討審議会」委員
	館山市「学校給食センター整備運営事業等PFI事業者選定審査会」委員長
	「鴻巣行田北北環境資源組合新施設建設等検討委員会」委員長
	小山市「小山市立体育館整備及び運営事業者選定審査委員会」委員長
	小平市「小平市立学校給食センター更新事業技術提案型総合評価審査委員会」委員長
	沼津市「PFI事業検討委員会」委員長
	八千代市「八千代市庁舎整備手法等専門会議」委員
	日の出町「日の出町総合文化体育センター設置検討委員会」委員
立川市「新学校給食共同調理場整備事業化調査等業務委託に係るプロポーザル審査委員会」委員	
(独) 日本スポーツ振興センター「新国立競技場の運営管理に係る民間事業化に向けた検討業務の委託」に関する技術審査委員会委員	
岡村 久和教授	総務省 地域情報化アドバイザー/委員
	川崎市川崎区帰宅困難者情報対策協議会アドバイザー
	EU 欧州連合/EU Gateway 建設技術審査委員会 2019委員長
	秋田県信用組合 木質バイオマス事業委員会委員長 顧問
	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 2019年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」委員
林 聖子教授	山形県科学技術会議委員
	山形県知的財産管理審査委員会委員
	慶應義塾大学生命科学研究所研究成果第4期最終評価会議 [山形県] 委員
	経済産業省東北経済産業局平成30年度地域中核企業創出・支援事業(とうほく自動車関連部品産業競争力強化事業) プロジェクトマネージャー
	公益財団法人全日本地域研究交流協会理事

<アジア研究所>

西澤 正樹教授	厚生労働省地域雇用活性化推進事業選抜・評価委員会委員
---------	----------------------------

学生団体地域交流活動連絡会

地域交流活動、ボランティア活動を支える学生による意見交換・情報交換を目的とした連絡会を、前期と後期にそれぞれ開催しています。

当日の活動で気がついたことや困ったこと、体験を通して感じたことなどを自由に話してもらっています。普段はほとんど話す機会のない地域の方々との交流ができて良かったと話す学生も少なくありません。

活動報告書の締めくくりにあたって、前期と後期に行われた学生団体地域交流活動連絡会の様子と、学生と各主催者からのアンケート結果についてまとめました。

●前期

日時：平成30年7月19日(木) 18時から19時30分

場所：第3会議室(旧1号館)

参加団体・人数：14団体19名

〈概要〉

4月から7月中旬までに行われた各地域での11のイベントに参加、運営、そして出演した各団体の学生から、当日の報告が行われたほか、主催者とのコミュニケーション、日程変更への対応といった課題などに関する意見も出されました。



●後期

日時：平成31年2月12日(火) 17時30分から19時

場所：第5会議室(1号館)

参加団体・人数：11団体20名

〈概要〉

10月と11月に多くのイベントが行われた後期分体験報告のほか、各イベントの早めの告知、周知によって一般学生の参加も期待できるのではないか、その方法としては亜大ポータルなどのツールのほか、ボランティア関連の授業でも周知が図られるのではないかといった意見が出されました。そして多くの学生から、体験に基づく次の参加・協力意識がうかがえる連絡会となりました。



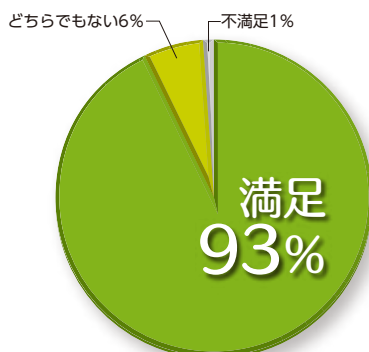
学生・主催者 満足度

地域交流活動の成果を測定し、イベント等を一層充実させるために、毎回の活動において学生、主催者双方にアンケートを行い、その結果を共有し合っています。

「活動に対する満足度」の項目では、学生の93%、主催者の96%が「満足」と回答しています。

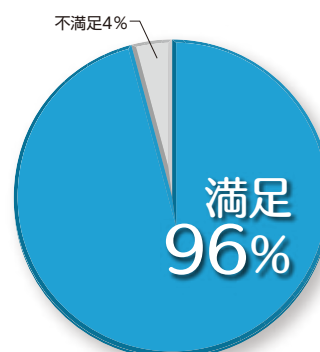
今後もこうした満足度の高い活動が展開できるよう、主催者の方々とのコミュニケーションも大切にしながら、人材育成と地域活性化に努めてまいります。

学生 満足度



N=209

主催者 満足度



N=24



亜細亜大学 総合企画部 地域交流課

〒180-8629 東京都武蔵野市境5-8
TEL 0422-36-2469 FAX 0422-36-2487
E-mail chiiki@asia-u.ac.jp
URL <http://www.asia-u.ac.jp/local/>

